

令和4年度「知事と市町長の円卓対話」（四日市市）概要

- 1 対話市町 四日市市（四日市市長 ^{もり} 森 ^{ともひろ} 智広）
- 2 対話日時 令和4年8月8日（月） 13：35～14：20
- 3 対話場所 四日市商工会議所（四日市市諏訪町2番5号）
- 4 視察場所 四日市港 第1埠頭（四日市市千歳町）
- 5 対話項目 四日市みなとまちづくりにおける三重県の連携について

6 対話概要

対話項目 四日市みなとまちづくりにおける三重県の連携について

（市長）

現在、四日市市では、2027年のリニア中央新幹線の開業を見据え、近鉄四日市駅周辺からJR四日市駅に至る1.6キロメートル区間の中心市街地の再開発に取り組んでおり、令和4年3月には中央通り再編基本計画（「ニワミチよっかいち」）の第2期中間とりまとめを行いました。バスタ四日市、新図書館、ペDESTリアンデッキ（まちをつなぐ歩行者デッキ）の設置などによる近鉄四日市駅周辺の賑わいをJR四日市駅まで引っ張っていきたい。

また、四日市港四日市地区の活性化については、四日市商工会議所を始めとする官民一体となった「四日市みなとまちづくり協議会」を設立し、令和3年11月には「四日市みなとまちづくりプラン（基本構想）」を策定しました。同プランでは千歳運河の賑わい創造と第1埠頭の再生などを掲げています。

四日市市としては、これら2つの計画をふまえ、近鉄四日市駅から四日市港までが一体となるまちづくりを進めていきたいと考えています。

しかしながら、四日市港第1埠頭は、（本日、現地視察で観ていただけなかった所もあるが）老朽化が激しく、陥没箇所があることなどから立ち入り禁止区域となっているほか、千歳運河の整備についてもまだまだという状況にあります。

四日市市の試算（概算）では、千歳運河の護岸改修に30億円、第1埠頭の護岸改修には150億円が必要となり、現在の四日市港管理組合のみなとまちづくりに関する予算規模（令和4年度 約2億円）では完成までに100年以上かかります。

四日市市としては、まずは千歳運河だけでも早期に整備したいと考えており、

そのためには、(やり方はいろいろあると思うが、正攻法としては、) 予算の増額が不可欠です。

四日市市としては必要な費用を拠出する気持ちはあるが、四日市港の整備は四日市港管理組合の予算で賄われており、三重県が5(5.56)、四日市市が4(4.44)を負担する構成比となっており、県に予算をあげてもらわないと、四日市市もあげることができず、単独で整備できないもどかしさがあります。

早期の事業完成に向け、県にも予算増額による協力をお願いしたい。最低でも2倍の予算としたい。

四日市港管理組合の負担金予算については、これまでに三重県と四日市市が具体的に協議したことはあまりないと聞いています。今後、しっかりと予算調整等を行う場を設けていただきたい。

港に対して膨らんだ四日市市民の期待を保ちながら、みなとまちづくりを進めていければと思っています。

スキームを問わずに、速やかに整備ができる体制を構築して行けるよう、県にも支援をお願いしたい。

予算も大事であるが、(四日市港は)四日市市民の誇りの場所であり、その思いに応えるため、優先順位を高くして取り組んでいきたい。

四日市市は、四日市市としてやるべきことはやるので、建設的な取組をさせていただきたい。

(知事)

全体像を見たときに、フランス(パリ)のグランアックスと同様の考え方だと感じた。

私もJR四日市駅を利用するが、やや寂しいと思う。

近鉄四日市駅からJR四日市駅にわたるグランアックスと考えると、四日市市民そして三重県民にとっても、非常に壮大で夢のある構想であると思います。

できるだけ早期の実現を私も願うところであるが、そこをどうするか。

四日市港は三重県の物流の中心地であり、その機能を維持・発展させていくには、三重県、四日市市、四日市港管理組合、民間事業者の皆さんなどの関係者の意向をしっかりと確認しながら協議していく必要がある。

ご提案にあった「四日市みなとまちづくり協議会」には分科会も設置するとも伺っているので、いたずらに時間をかけるのではなく、皆が同じ方向を向き、四日市港、ひいては三重県の発展のために話をさせていただきたいと思います。

そのうえで、国土交通省港湾局では、親水空間を大きく打ち出しているところなので、その方向で進んでいくのはいいと思います。

予算面については、財政的に余裕のある四日市市に対して、三重県には余裕がない。そのなかで、どのように進めていくのかがポイントとなる。

四日市港管理組合だけでは結論は出ない。

県としては、四日市港管理組合を所管する雇用経済部と四日市市と協議を進める。その間に四日市港管理組合が入ることになると思います。

資金スキームについて相談をしながら考えていく必要があります。

関係者が多いことから、拙速は避けるべき。じっくり議論し、やるとなれば早めにやる、ということだと思います。

親水空間ということであれば、港湾局となるがそれほど予算があるわけではない。都市局の予算を使う考え方もある。一番早くできるやり方を柔軟に考えていくべきだと思います。

いろんな方々の意見があって関係者があることから、丁寧に意見を掘り起こして考えていくことが必要だと思います。

ご要望の趣旨はよくわかりました。

県にはいろいろな事業があり、産業振興は非常に重要であると思うが、その前に大切なのが、県民の命を守ることであると思っています。

津波災害時の避難タワーが三重県内に十分に整備されているかといえば、必ずしもそういうわけでもない。また、北勢児童相談所については、築30年を超え、老朽化が激しい。そこに子どもたちが入所しているが、何とかしなくてはならない。優先的な事業としては、そういうものになると考えています。そのうえで、観光も含めた産業振興を進めていくことになると思います。

四日市市で予算を出せるということであれば、先行的にという形も考えられます。

対話項目外 大四日市まつりについて

(市長)

昨日、四日市港において、四日市港まつりが開催された。また、市中心部では、

昨日、一昨日に、大四日市まつりが開催されました。いずれも3年ぶりの開催です。

大四日市まつりは、25万3千人の人出となり、3年前（コロナ禍前の数字）を超えました。とりわけ若者の数が多く、可能性を感じたところです。魅力的な催しを行えば、四日市市の中心部に人は集まることを実感しました。

四日市港まつりにおいては、シャトルバスも運行したが、相当数の利用者がありました。このような催しが定期的に行えば、盛り上がりにつながる可能性があると感じたところです。

(知事)

大四日市まつりについては、人流復活、観光復活ということだと思っています。

四日市港及びJR四日市駅が整備できれば、亀山からも行きやすくなる。そうなるに関西本線の利用者の増加にもつながると思われま。

対話項目外 大学誘致について

(市長)

(回答を求めるものではありませんが)

具体的なことは決まっていますが、JR四日市駅の開発を検討するなかで、一つの軸として、大学の設置・誘致を検討しています。

詳細は今後検討することとなるが、市議会などからは、地域のものづくり産業など産業全体を支援するため、理工系が望ましいとの意見が出ているところです。

四日市市だけでなく、三重県を支えていく人材を供給できるような高等教育機関があれば、地域としてよいローテーションが築けるのではと思います。

大学を誘致していく際には、県にも何か支援を頂けたらと思います。

(知事)

大学誘致については、以前から四日市市などから、県立大学の誘致の要望をいただいています。

県立大学は大変人気が出ており、南部地域からも北勢地域からも是非にと言われています。さらに津市にある学校を県立大学にしてほしいと聞いています。

学究地区として、JR四日市駅周辺を考えられるのは、時宜にあったものであると思っています。

名古屋から人も呼べる、関西本線を使って奈良からも来やすい。

対話項目外 人口減少対策について

(市長)

知事が取り組まれている人口減少対策には大いに共感するところです。

四日市市は三重県からの人口流出のダム機能を果たす必要があると考えているが、一方で、守りだけの施策ではだめであり、県外から来てもらえるような施策も必要であるという使命感を持っています。

四日市市が施策を進めていくなかで、(競争)相手は愛知県の自治体であり、それらの自治体と比べたサービスの質がどうかを常に比べて考えており、対愛知県の最前線エリアだと思っています。

愛知県(名古屋)から人を呼び込んでいける窓口として四日市市を位置づけてもらいたい。

(知事)

人口減少対策は絶対にやっていかななくてはならないものです。これから、各市長とも真剣に話し合いをしていきたいと思っています。

四日市市は三重県の人口流出の壮大なダム機能を果たしてもらっています。

三重県が愛知県を相手にどうやっていくかは、基礎的な財政力の問題もあり難しいが、三重県の良さを活かして取り組んでいきたい。

三重県としても同じ方向を向いた同志として取り組んでいきたい。